

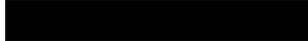
議長	局長	次長	係長	係	
					

阿久根市議会議長 牟田 学 様

令和8年2月12日

第 1 号	受
令和8年2月12日	
陳情	付

阿久根市泉源を活用した温泉設備整備の早期実現に関する陳情

提出者 住 所 阿久根市大丸町16番地
氏 名 阿久根温泉祭り実行委員会
会長 川端 里花子
電 話 

拝啓

平素より阿久根市の発展と市民生活の向上のため、昼夜を問わずご尽力いただいておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げます。

私ども阿久根温泉祭り実行委員会は、阿久根市泉源に眠る温泉資源を市民とともに活かし、次世代へとつないでいきたいという強い思いのもと、「阿久根温泉祭り」を開催してまいりました。本イベントは単なる催しではなく、「阿久根市には誇るべき温泉がある」という事実を、市民自らが再認識し、地域の未来を考える場でもあります。

しかしながら、阿久根市には確かに泉源が存在しているにもかかわらず、それを汲み上げ、恒常的に利用できる設備・インフラが整備されていないという現実があります。この状況は、貴重な地域資源を“あるのに使えない”状態で放置しているとも言え、市民にとっても、そして将来の阿久根市にとっても、極めて惜しい状況であると感じております。

温泉は、健康増進、交流促進、観光振興、そして地域への誇りの醸成といった、多面的な価値を持つ資源です。阿久根市の温泉が、市民に自由に開かれた存在となれば、日常の暮らしの質を高めるだけでなく、市外から人を呼び込む力となり、地域経済の活性化にも確実につながるものと確信しております。

今、全国各地で地域資源の活用が問われる中、阿久根市が自らの資源をどのように扱い、未来へどう引き継いでいくのかは、まさに今を生きる私たちの選択にかかっています。阿久根温泉を“幻の資源”で終わらせるのか、それとも市民共有の財産として育てていくのか、その分岐点に立っていると私どもは考えております。

つきましては、阿久根市の誇るべき温泉泉源を、市民が自由に利活用できる環境を整えるため、温泉を汲み上げ、利用可能とするための設備・インフラ整備について、調査・検討を含め、早期に具体的な取り組みを進めていただきますよう、強く陳情いたします。

本陳情の趣旨をご理解いただき、阿久根市の未来、そして市民一人ひとりの豊かな暮らしのために、前向きなご判断を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 既存の阿久根温泉泉源を阿久根市民が恒常的に利活用できるように整備すること

以上